

「学校における安全点検要領」の試行協力校からの意見

■「良さ」や「活用しやすさ」

【安全点検の視点（安全点検の方法の映像）】

- これまで施設設備の劣化を見る点検をしてきたが、子供の動きを踏まえることも含め事故を防止するための視点がわかりやすい。
- 自分の安全点検の分担以外の場所も、点検の視点が示されていることで、例えば担当外である体育館で部活動をしているときに留意すべき指標となる。
- 安全点検映像も点検を行う視点がわかりやすく、短時間で学べてよい。

【安全点検表】

- 点検表では、どのようなところを見ればよいか具体的に書かれている。
- 点検表について、日常と定期で分けて整理してあり使いやすい。
- 点検表に記載の観点は非常に納得的。学校の状況を踏まえて追加等できるのも良い。
- 集計シートにおいて、×や△の箇所が自動で色が付くので分かりやすく良い。

【教職員の負担軽減】

- 点検表のデジタル化により担当者の集計作業の効率化が図られ、管理職も点検結果の全体像を速やかに把握しやすい。点検表を全教員で共有しておけば、点検未実施の箇所について管理職がわざわざ督促をすることもせずに済むかもしれない。
- すでにデジタル化を進めているが、自動集計は楽で、管理職も全体の点検結果を把握しやすい。
- 担任等は日常の点検に重点を置き、管理職等が定期的点検を行う対応もできると感じた。
- 設備の点検との整理が理解しづらいつ感じていたがクリアになった。これで校内での分担もよりしやすくなる。

【専門家の活用】

- デジタル化により、点検結果を教育委員会とも共有できる。

【安全教育】

- 事故を防止する視点は、生徒の安全教育にも生かせる。
- 安全教育と一体的に進めることが重要であるので、こういった視点が要領の中にあるのはよい。

【活用全体に関すること】

- 安全点検要領を校内の研修で使用したい。

■「課題」や「懸念点」

【理解度や使いやすさ】

- 点検表に見慣れない言葉があった。要領・点検表の使い方をうまく案内することが必要かもしれない。
- 点検表の「日常の点検」部分がどのようなタイミングで記載したらよいかわかるようになるとよい。
- タブレットの入力に手間取るがこともありうるが、スプレッドシートやグーグルフォームなどで応用して使用することが考えられる。また、ペンで操作するとかなりやりやすくなると思う。

【活用全体に関すること】

- 各学校が安全点検要領を使ってもらおうよう、いかにアクセスしてもらえるかが重要。